

丘の大地

No.1176

1月号

2022 January

楽しい1年に
なりますように！

2022年 あけましておめでとう！

新年特集号





代表理事専務
真田 佳則

昨年、美瑛町農業は、雪解けも早
く、春作業は順調にスタートいたし
ましたが、7月以降、記録的な猛暑
が続き降水量についても過去最少と
なったことから、多くの作物で干ば
つの被害が発生した年となりました。
こうした事態を受け、町行政へは
いち早く、被害農業者への支援策を
要請し、協議を重ねてまいりました。
当該年度の災害という観点から、12
月中の支援を念頭に早急な対応とな

美瑛町総体の農業生産高見込みで
は116億円、交付金合算ベースで
は150億円となり、計画対比は93
%となったところであります。この
ような災害年の中でも一定の実績を
残せたことは、組合員皆さまの
農業技術の高さと、本町農業の生産
基盤の強さを証明した結果であると

次々と出てくる新たな変異株への
対応や、ブレイクスルー感染を予防
するために、ワクチンの3回目の追
加接種が始まるなど、まだまだ終息
の兆しは見えてこない状況ですが、
貿易の正常化や観光旅行の再開が進
み始めていることを希望の光と捉え、
組合員皆さまと共に乗り越えていき
たいと考えております。
このような中、農業を取り巻く環



代表理事組合長
熊谷 留夫

また、地域農業の振興や地域社会
の発展にご尽力されていることに對
し、改めて敬意を表しますとともに、
感謝を申し上げます。
組合員の皆さまには、長引くコロ
ナ禍にあってもその苦境に負けず、
日々営農に邁進されておられること
と存じます。

令和3年度の区域内農業について
は、コメは作況指数「108」とな
り、小麦と共に豊作基調ではありま
したが、その他の畑作物や野菜、飼
料作物においては、干ばつの影響を
受けたことから、地区・個人差が大
きく表れた形となりました。
被害に遭われました組合員の方々
には、改めて心よりお見舞いを申し
上げます。

昨年から続く新型コロナウイルスと
の戦いが長期化し、今までは大き
く変化した一年でありました。日本
国内の累計感染者数は170万人を
超え、外出や飲食店利用の制限を実
施するなど、人や物の流れに変化が
見られましたが、昨年からは始まった
ワクチン接種が功を奏したのか、少
しずつ落ち着きを見せ始めています。
確信しております。

年頭の
ごあいさつ

生命の誕生と萌芽を
意味する「壬寅」の年
みずのえとら

謹んで新春の お慶びを申し上げます



- | | |
|----------------------------|-------|
| ◆代表理事組合長 | 熊谷 留夫 |
| ◆代表理事専務 | 真田 佳則 |
| ◆常務理事 | 渡辺 和也 |
| ◆理事
(総務委員長・農家経済対策特別委員) | 村上 聡和 |
| ◆理事
(業務委員長・農家経済対策特別委員) | 江花 秀一 |
| ◆理事
(総務副委員長・農家経済対策特別委員) | 山田 剛 |
| ◆理事
(業務副委員長・農家経済対策特別委員) | 米田 浩幸 |
| ◆理事
(農家経済対策特別委員長・業務委員) | 吉井 鉄也 |
| ◆理事
(農家経済対策特別副委員長・総務委員) | 青嶋 秀雄 |
| ◆理事 (総務委員) | 野村浩太郎 |
| ◆理事 (総務委員) | 佐藤 仁昭 |
| ◆理事 (業務委員) | 下司 和広 |
| ◆理事 (業務委員) | 岡田 直和 |
| ◆理事 (信用担当) | 中村 紀之 |
| ◆代表監事 | 太田 満 |
| ◆常勤監事 | 宮崎 俊章 |
| ◆監事 | 林 大祐 |
| ◆監事 | 白川 徳明 |
| ◆監事 | 天草 千晶 |
| | 外職員一同 |

境も日々、大きく変化しており、農畜産物の深刻な需要の減少や「SDGs」への貢献、地球温暖化による気候変動への対応として「2050カーボンニュートラル」への挑戦の具体化(みどりの食料システム戦略の策定)など、JAグループとしてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は3年に1度開催されるJA北海道大会が30回目を数え、「北海道550万人と共に創る『力強い農

業』と『豊かな魅力ある農村の達成』という将来ビジョンが決議されました。

当JAとしても、コロナ禍の制限などありますが、学校給食への「美瑛米」、ゆめちから食パン」の贈呈や、レストランアスパルジュでのテーブルマナー講習、青年部・女性部・フレッシュミセス会による町内の子どもたちへの農業体験や学習活動を通じて、協同組合の輪を広め、「対話」をすることにより、

変化の波をJA運営に取り込んでいけるよう、組合員・役職員一丸となつてしっかりと取り組んでまいります。

そうした意味からも、協同組合は今後も組合員の営農と生活を守る地域の「よりどころ」として、その役割や機能を高めていくことが求められると考えております。

結びになりますが、今年の干支は「壬寅」です。十干の「壬」は陽氣を下に宿すという意味を持っており、

生命の誕生を表します。一方、十二支の「寅」も壬と同様に、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂れにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と、組合員ご家族の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



トピックス JAこの一年



1/6 とまと生産部会定期総会



2/10 麦作生産部会定期総会



令和3年は、前年に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、ワクチン接種や治療薬の開発が進んだことで、10月に入ると新規感染者数の報告も少なくなり、ほっとされた方も多くいらっしやるのではないだろうか。

しかしながら、農畜産物の消費動向は芳しいものとは言えず、コメの値下がりや乳製品在庫の積み上がりなど、不安になる情

「国消国産」を支える

生産現場として

報も入ってきています。一方で、マスクの供給不足を体験したことから、「もし不足するのが食料だったら」という考えが国民の中に生まれ、国産の農畜産物への注目が高まっていることも事実です。食の安心・安全への意識が高まる中、「国消国産」を支える農畜産物の生産現場として奮闘した、当JAの1年を振り返ります。

2021年の動き 事業活動を振り返って

1月

仕事始め

美瑛神社豊穰・安全祈願祭

とまと生産部会定期総会

6日
6日
25日

2月

種子馬鈴薯生産組合定期総会

メロン生産部会定期総会

麦作生産部会定期総会

豆作生産部会定期総会

ブロッコリー生産部会定期総会

稲作生産部会定期総会

白金アスパラガス生産部会定期総会

ニンジン生産部会定期総会

9日
10日
10日
12日
15日
16日
16日
18日



6/21
美瑛小学校とまと食育授業



3/11~12 第66回地区懇談会



4/6 第70回通常総代会



6/25 三者包括連携協定式



5/19 穀類種子調製施設地鎮祭

3月			4月			5月			6月		
美瑛町加工馬鈴薯コントラ協議会 定期総会	4日		朝会／新規採用辞令交付 第70回通常総代会	1日		穀類種子調製施設地鎮祭	19日		北海道危険物安全協会連合会 ライスセンター表彰	4日	
百合根生産部会定期総会	10日		年金友の会定期総会	6日		共済優績JA表彰伝達式	21日		美瑛小学校とまと食育授業	21日	
第66回地区懇談会	11日		美瑛町酪農ヘルパー利用組合定期総会	9日		畑作3部会現地研修会	27日		美瑛町・トリドールHD・JAびえい 三者包括連携協定式	25日	
酪農振興部会定期総会	12日		美瑛町乳牛検定組合定期総会	26日			28日		食と農でつながるサポーターづくり 優良表彰	30日	
青年部・フレッシュミセス会 リーダー研修会	23日		共済広域推進決起大会	27日							
新農業人研修修了証書授与式	23日										
青年部春期研修会	24日										
豆採種生産部会定期総会	29日										



11/16 第30回JA北海道大会



7/9 美瑛小麦フォーラム



11/22 学校給食 美瑛米・食パン贈呈式



8/18 コントラクター協議会安全祈願祭



12/6 集落代表者研修会



9/8 令和3年産米初検査



12月 役員道内視察研修 第47回集落代表者研修会 第58回美瑛町新農業人激励の集い 美瑛町へ鏡餅謹呈 仕事納め 2月3日 6日 7日 28日 30日	11月 農業機械早期予約展示会 第30回JA北海道大会 中学生テーブルマナー講習 農協法公布記念朝会 組合員宅一日一斉皆訪問 学校給食 美瑛米・食パン贈呈式 新嘗祭 10日 16日 17日 19日 19日 19日 22日 23日	10月 第16回JAびえいOB組合長杯 パークゴルフ大会 5日	9月 令和3年産米初検査 8日	8月 加工馬鈴薯コントラクター安全祈願祭 18日	7月 美瑛小麦フォーラム 穀類乾燥調製貯蔵施設安全祈願祭 麦作合同会議 ライスセンター受入式 美瑛神社例大祭・御神幸式 9日 13日 15日 19日 25日
--	---	--	--------------------------------------	---	---

本年もよろしく お願いいたします

支 所 長
鹿 野 理

地域第一係長
木 村 篤

地域第二係長
辻 英 敏

専門主任
佐 藤 誠 一

専門主任
小笠原 史 子

専門普及指導員
堀 田 ひとみ

専門普及指導員
田 中 伸 尚

普及指導員
藤 本 周

普及職員
京 極 竜之助

普及職員
井 口 希

(敬称略)

年頭のごあいさつ



変化する農業情勢に 対応できる地域づくり

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 鹿 野 理

新年明けましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、つ
つがなく新しい年をお迎えのことと
心よりお慶び申し上げます。日頃よ
り、農業改良普及事業の推進に当
りまして、農業者、関係機関の皆さ
まからご支援とご協力を賜り、感謝
申し上げます。

近年、「過去にない気象」が起こ
ることは珍しくないとされます。
昨年の気象を振り返りますと、7月
平均気温が高く、8月の日最高気温
が37.1℃と、44年間の統計記録に
て第1位の記録更新となりました。
また、7月の降水量は平年の約6%
と極めて少なく、干ばつ傾向となり
ました。

記録的な気象条件は、品質低下や
出荷数量の減少など、農作物にとつ
て厳しい年となりましたが、気象変
動に対応した、きめ細やかな基本技
術に基づいた栽培管理に取り組んで
頂くなど、その影響は最小限に止ま
ったと考えます。

最近よく聞くようになったSDGs
(持続可能な開発目標)は、193
の国連加盟国が17項目の目標を掲げ
ています。その中には温暖化など気
象変動の緩和や対応などの内容も含
まれ、環境と調和した持続可能な農
業の展開を意識する必要があります。
さらに、観光と連携する地域社会
発展においては、付加価値の高い農
業の推進、食育の推進など社会的意
義が大きい目標でもあり、重要と考
えられます。

さて、北海道農業は農家戸数が減
少傾向で推移し、農業就業人口の65
歳以上率が4割を超え、益々高齢化
が進行し、労働力不足が深刻化して
います。

こうした中、道では令和3年3月
に第6期「北海道農業・農村振興計
画」を策定し、目標となる「めざす
姿」の実現に向け推進しています。
上川地域の取り組み方向は、10年後
の「多様な担い手と人材が輝く力強
い農業・農村」を目標としています。

美瑛町では、多様な担い手確保とし
た先進的な新規就業支援体制、新た
な農福連携推進などが進められ、人
材や労働力の確保や魅力的な産業と
しての発展が期待されています。

生産技術では、基盤整備の計画推
進や、RTK・GNSSを活用した
農作業機械、施設園芸の環境制御設
備など、デジタル技術活用による新
たな農業の変革が動き始めています。
美瑛町スマート農業推進協議会にお
いても、様々な協議が進められてい
ます。普及センターの重点普及活動
地区では、衛星リモートセンシング
技術を試行し、スマホやタブレット
によるほ場の可視化、肥培管理や収
穫判定における実用化を見据えた検
討を重ねているところです。

他には、前々年から新型コロナウイルス
感染症の世界的な規模拡大が
続いており、経済・社会へ大きく影
響し、地域構造も変動しました。

今後とも目まぐるしく変化する情勢
に対応すべく「足腰の強い農業」を
めざすことで、美瑛ブランドが発展
されることに期待いたします。

普及センターでは、変革する農業
情勢を捉まえ、農業者の皆さまおよ
び関係機関と一体となり、地域の課
題解決に向け取り組む所存ですので、
今後とも一層のお力添えを賜りますよ
う、よろしくお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして健康で
希望に満ちた良き年となり、豊穡の
秋となりますことを心よりご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶いたします。



営農ガイド

上川農業改良 普及センター大雪支所

EINOU GUIDE

水 稲

春作業のスタート早まる
5月の低温が苗生育に影響

令和3年の
生育を顧みて

積雪が少なかった影響で、昨年の美瑛町の融雪期は平年より7日早まり4月1日となりました。それに伴い、本田耕起作業も1週間ほど早く進みました。

温湯消毒済種子の受け渡しは3月26日から始まり、順次予措作業および育苗ハウスの準備が開始されました。5月初旬にかけて低温と日照不足が続ぎ（図1・2）、移植時の苗形質については、草丈・葉数が平年よりやや小さくなりました。

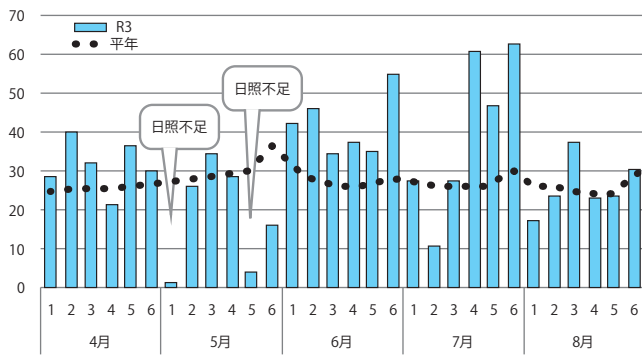


図1 4月から8月にかけての日照時間の推移

6月下旬以降、気温が高く、日照時間も長かったことから、7月以降は平年より生育が早まりました。冷害危険期も低温に遭うことはありませんでした。

27日連続の真夏日を記録

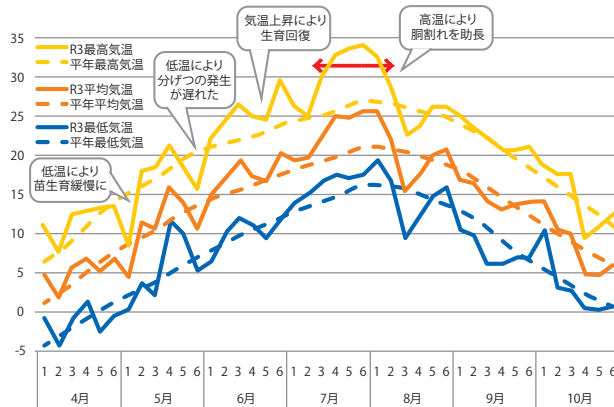


図2 4月から10月にかけての気温の推移

6月からの暖かさと生育回復
昨年の美瑛町での移植作業は、5月9日と管内トップの早さで始まりました。移植後5月下旬の低温寡照により（図1・2）生育が緩慢となり、分けつの発生が遅れ、6月1日時点での茎数が例年より少なくなりました。

美瑛町では7月13日から8月8日の27日間連続の真夏日となり（図2）、草丈・茎数共に平年を上回りました。生育に伴い成熟期も早まったため、美瑛町では9月1日に収穫が始まりました。落水後はほとんど降雨がなかったため、ほ場の乾きが良く、平年より1週間ほど早く収穫作業が進みました。

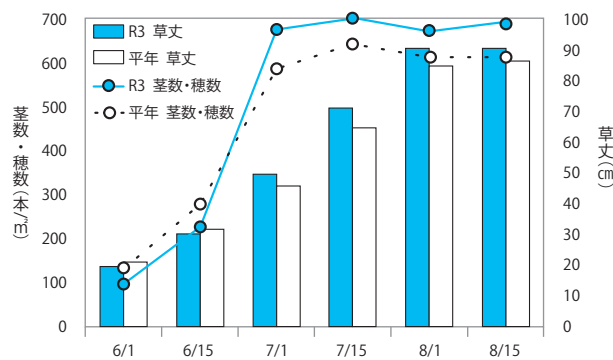


図3 草丈、茎数・穂数の推移（成苗ななつぼし）

平年を上回る収量を確保 一方、胴割粒が多発

昨年は稈長が長く穂数が多い年となり、稔実粒数も平年より多くなりました。一穂粒数はほぼ平年並だったものの、m当たり粒数およびm当たり稔実粒数が平年比111%と多い傾向になりました。坪刈り調査における収量は平年比109%となりました。粒数を確保したこと、登熟期間の好天により遅れ穂も含め十分に登熟した結果、平年以上の収量確保

表1 R3収量構成要素（成苗なつばし）

	穂数 (本/m)	1穂粒数 (粒)	m当粒数 (粒/m)	稔実歩合 (%)	m当稔実 粒数 (粒/m)	精玄米重 (kg/10a)	屑米重 (kg/10a)	千粒重 (g)
R3	693	54.5	37,769	96	36,258	711	30.8	22.7
平年	612	55.6	34,027	96	32,682	655	30.0	22.8
平年比(%)	113	98	111	100	111	109	103	100

保に繋がりました。m当たり稔実粒数が多かったため、タンパク値は低い傾向となりました。

一方で、出穂期を迎えた7月中旬以降に記録的な猛暑が続いたこともあり、胴割粒による品質低下が美瑛町でも見られました。

畑作

3月は温暖で雪解けが進んだことから、融雪期は平年より7日早く、積雪期間は7日短くなりました（表1）。

表1 美瑛町の根雪始・融雪期

項目	根雪始	融雪期	積雪期間
R3	11月26日	4月1日	126
平年	11月26日	4月8日	133
平年差	±0	早7日	短7日

農耕期間（4～10月）の積算平均気温は3,059℃（平年比105%）、日照時間は1,260時間（同115%）、降水量は574mm（同82%）でした。

記録的な少雨・暑さとなった6～7月は、最高気温30℃以上の真夏日が27日連続したほか、2ヶ月の降水量はわずか29mm（アメダス美瑛、平年190mm）となり、異常な高温と乾燥は農作物の生育に甚大な影響を与えました。

町内40カ所の気象センサの観測では、6～7月の降雨に地域の偏りがあったことがわかります（表2）。

表2 令和3年6～7月地点別降水量（気象観測システムの観測降水量）

観測地点	月別降水量(mm)		
	6月	7月	合計
旭	24	11	35
旭第三	22	14	36
旭第五	23	31	54
北瑛第一	26	12	37
北瑛第三	19	34	53
大村中本	38	6	43
大村村山	34	6	40
五稜第一	36	5	41
五稜第三	47	5	53
二股共栄	36	5	41
二股日進	42	8	50
瑠辺榮共和	25	3	29
瑠辺榮栄進	23	5	28
美園	38	4	42

観測地点	月別降水量(mm)		
	6月	7月	合計
新第一	29	46	75
新第五	35	31	66
大曲	21	8	29
水沢新生	20	3	23
水沢厚生	36	24	60
美沢共立	44	29	73
美沢早崎	51	22	73
美沢美生	51	16	67
美沢双葉	52	18	70
美沢希望	53	16	68
美瑛原野五線	25	9	34
新区画	37	12	49
藤野協成	46	10	56

観測地点	月別降水量(mm)		
	6月	7月	合計
置村牛藤井	55	22	77
置村牛上精美	54	31	85
置村牛協英	44	29	73
上宇莫別	43	33	75
上宇莫別藤山	46	42	88
上宇莫別藤山	30	31	61
下宇莫別第二	41	30	71
赤羽宇赤羽	45	50	96
横牛堀之沢	37	73	110
八千代	38	90	128
朗根内	50	77	127
俵真布	43	56	99
俵真布第三	47	29	75

40地点平均 38 25 62

1 秋まき小麦（きたほなみ）

① 生育経過（表3、図1）

融雪を早くに迎え、起生期は平年より4日早くなりました。幼穂形成期、止葉期は平年より2日早かったものの、5月下旬は低温寡照だったため出穂期は2日遅くなりました。



出穂以降、高温多照下で登熟が急速に進んだことから、成熟期は平年より3日早くなりました。収穫期間中は好天に恵まれ、低水分実の施設受入も順調だったため、収穫終は平年より4日早くなりました。

節間伸長の旺盛な5月の気象は、多雨寡照だったことから、茎稈は長くやや軟弱となりました。越冬前の生育はやや旺盛で冬損もなかったことから、茎数は平年を上回って経過し、成熟期の穂数は平年より多くなりました。出穂から成熟までの登熟日数は平年より5日短くなりました（昨年38日、平年43日）。

表3 秋まき小麦（きたほなみ）の生育期節・農作業

項目	生育期節						農作業期		
	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
R3	4月12日	5月6日	5月26日	6月8日	6月28日	7月16日	7月20日	7月23日	7月28日
平年	4月16日	5月8日	5月28日	6月6日	6月29日	7月19日	7月23日	7月26日	8月1日
遅速	早4日	早2日	早2日	遅2日	早1日	早3日	早3日	早3日	早4日

(2) 病害虫の発生状況

越冬前生育量を確保し、積雪期間は短かったため、融雪後の雪腐病の発生は軽微でした。

縞萎縮病や立枯病、眼紋病といった連作で発病リスクの高まる土壌病害の発生が見られました。縞萎縮病は道央、道東で問題となっており、発生拡大に注意が必要です。

出穂以降、乾燥条件にあったため赤かび病は確認されませんでした。

一方、高温乾燥を好む赤さび病は6月下旬頃から急速にまん延しました（写真1）。

赤かび病に主眼を置いた薬剤選定と防除に差し掛かっていたことから、十分な効果を得られなかった



写真1 止葉に進展した赤さび病病斑

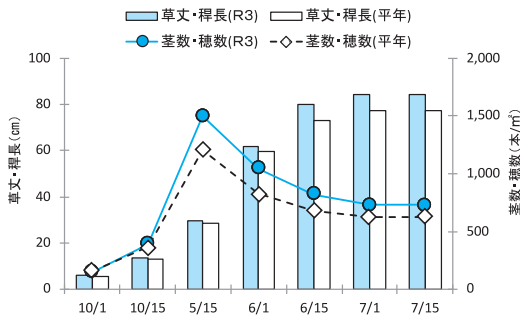


図1 きたほなみの生育経過

(3) 作況の収量構成要素と要因

一穂粒数や千粒重は平年を下回りましたが、穂数は多く子実重は平年並となりました（表4）。

と考えられます。乾燥した環境でしたが、被害をおよぼすほどのアブラムシの寄生は見られませんでした。

表4 秋まき小麦（きたほなみ）の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り穂数(本)	1穂粒数(粒/穂)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)	蛋白含有率(%)
R 3	728	26.3	37.4	803	11.0
平年	630	30.5	40.5	786	12.2
平年比(%)	116	86	92	102	-1.2pt

※1 穂粒数・千粒重2.2mm網上

トラックスケールデータの解析では、令和2年産と同様に、令和元年産に比べて整粒率は低下しました（図2の点線囲み）。

前年産からの収量増減と容積重（種実の充実度のめやす）の関係を見ると、両者に比例関係が認められ、容積重の低下が減収を招いているものと推測されました（図3）。

穂数が多いことで子実重を確保できま

したが、急激に登熟が進んだ場合は子実肥大が不十分となり、収量を低下させたと考えられました。

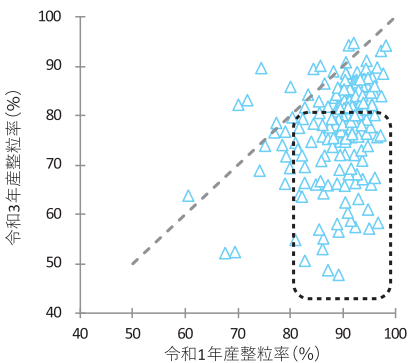


図2 きたほなみ整粒率の年次比較（令和元年産と3年産の比較）

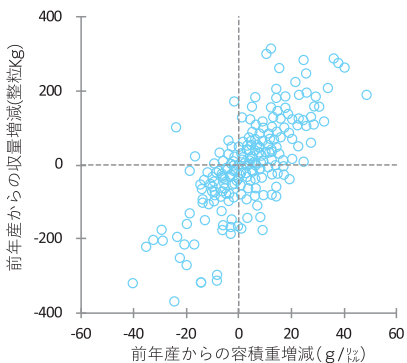


図3 収量増減と容積重の関係（きたほなみ）

(4) ゆめちからの子実タンパク

ゆめちからの子実タンパクは全体的に低下する傾向にあります。令和2年産物と同様に、タンパク14.1～16.0%の生産者が全体の8割を占めました（図4）。

(5) 令和4年産秋まき小麦の生育状況

（表5）

昨年9月上旬は降雨が少なく、は種作業は平年より早く進みました。

2 春まき小麦（春よ恋）

(1) 生育経過（表6、図5）

融雪後のほ場乾燥は良好で、は種期、出芽期は平年より早まりました。その後、

土壌水分は低く、出芽に時間を要しました。また、は種後の強雨により傾斜ほ場の土砂流出や種子の流亡を生じましたが、多くのほ場は目標の葉数に到達し、越冬前の生育は概ね良好でした。

表5 令和4年産秋まき小麦のは種作業・出芽期

項目	は種始	は種期	は種終	出芽期
R 4	9月3日	9月10日	9月20日	9月22日
平年	9月8日	9月16日	9月27日	9月27日
遅速	早5日	早6日	早7日	早5日

※は種作業・出芽期は、きたほなみ・ゆめちからの両方を対象とした

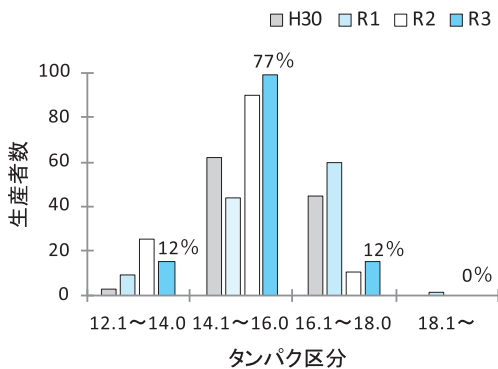


図4 ゆめちからのタンパク階層分布（過去4ヶ年）

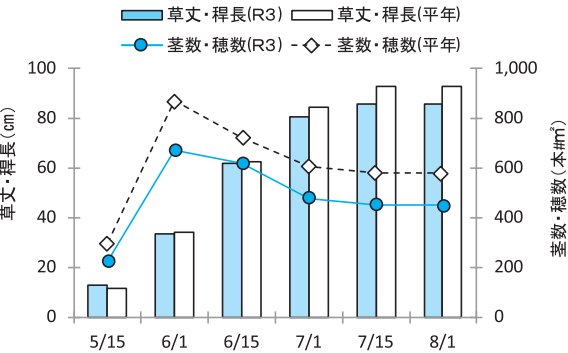


図5 春まき小麦の生育経過



写真2 は種1ヶ月後の未出芽種子とその後の出穂期の様子

4月下旬から5月上旬にかけて低温多湿となり、低地温や種子腐敗による発芽障害、出芽数不足が地域内に散見されました（写真2）。

止葉期および出穂期は平年よりやや遅くなりましたが、出穂以降は著しい高温と多照だったことから、生育は進み、平年に比べ6日早い成熟期となりました。

登熟日数は平年より7日短い37日でした。

秋まき小麦収穫を早くに終え、春まき小麦の子実水分低下も進んだことから、平年より早くに収穫作業は開始されました。乾燥調製施設の受入は順調で、収穫後は平年より6日早くになりました。

出芽数不足だったことから、茎数は平年の8割ほどで経過し、成熟穂数は平年より少なくなりました。また、出穂以降は少雨で乾燥条件にあったことから、稈長は平年より短くなりました。

表6 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節					農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫期
R 3	4月12日	4月17日	4月27日	5月1日	6月11日	6月20日	7月10日	7月27日	7月30日	8月2日	8月4日
平年	4月18日	4月21日	4月28日	5月4日	6月10日	6月19日	7月11日	8月2日	8月4日	8月7日	8月10日
遅速	早6日	早4日	早1日	早3日	遅1日	遅1日	早1日	早6日	早5日	早5日	早6日

（2）病害虫の発生状況

秋まき小麦と同様に、乾燥を好適条件とする赤さび病がまん延しました。発病が重く葉身の早期枯れ上がり呈した場合は、子実肥大不足を招いたものと考えられました。

（3）作況の収量構成要素、要因

千粒重、一穂粒数は平年並もしくはやや多かったが、穂数が不足したことから子実重は平年を下回りました（表7）。

表7 春まき小麦の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り穂数(本)	1穂粒数(粒/穂)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)	蛋白含有率(%)
R 3	451	22.9	41.4	450	13.3
平年	583	21.7	41.6	537	13.2
平年比(%)	77	106	100	84	+0.1pt

※1穂粒数・千粒重2.3mm網上

登熟期間は短く、子実肥大不足が懸念されましたが、千粒重や子実タンパクは平年並となりました。子実重と容積重の関係をみると、前年に比べ容積重は増加しているにもかかわらず、減収する傾向が確認されました（図6の点線囲み）。このことから、春

まき小麦の減収は、子実肥大不足よりも、地域内で広く生じた出芽数不足・穂数不足が原因と推察されました。

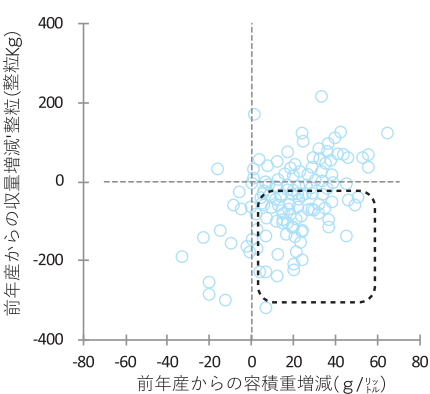


図6 収量増減と容積重の関係（春よ恋）

3 小豆(しゅまり・きたろまん)

（1）生育の経過（表8、図7・8）

は種期、出芽期は平年より遅れたものの、その後の高温多照で、開花始は平年より4日早まりました。6月から続く少雨の影響から8月以降の茎長、着莢数は平年を下回りました。

昨年の特異的な気象経過の結果、開花期後半に主茎上位節や分枝に着莢した莢が多く、莢の登熟はばらつき、成熟期は大幅に遅れました（写真3）。

生育期間を通じて乾燥した環境にあったことから、細菌性病害や灰色かび病などの発生はほとんどありませんでした。アズキノメイガやマキバカスミカメによる加害は平年並でした。

ほ場間、ほ場内に開花期のばらつきが大きく、開花や着莢を目安とする病害虫防除の適期や防除要否の判断が難しい年となりました。

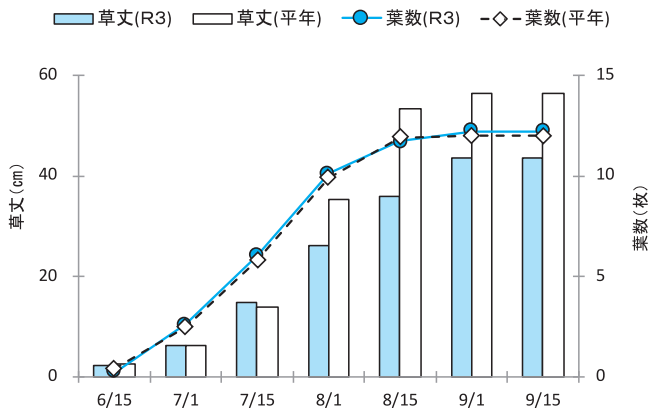


図7 小豆の生育経過



写真3 昨年確認された異常高温の影響
左：花芽がこぶ状に変形、右：8月末に盛んに開花

表8 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節			農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	開花期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
R 3	5月21日	5月24日	6月3日	6月11日	8月2日	9月20日	9月20日	10月12日	10月29日
平年	5月18日	5月23日	6月1日	6月7日	7月25日	9月12日	9月20日	10月5日	10月19日
遅速	遅3日	遅1日	遅2日	遅4日	遅8日	遅8日	±0	遅7日	遅10日

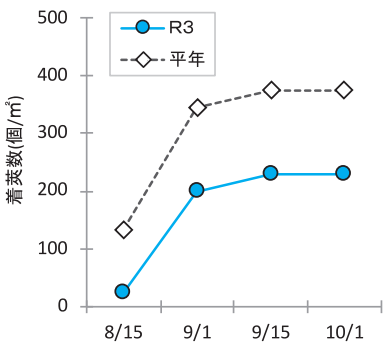


図8 着莢数の推移

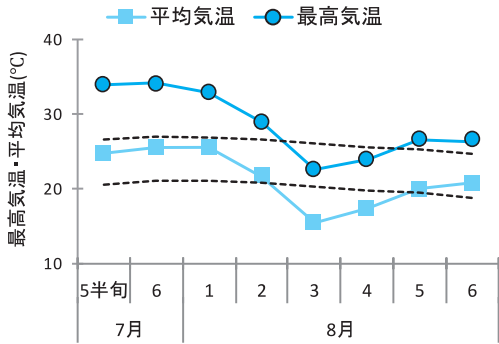


図9 8月3半旬以降の気温低下

着莢数が少なく養分競争を生じなかつたことから、百粒重は平年を上回ったと考えられました。また、日射量が低下し、光合成による同化産物の減少する開花期

(2) 作況の収量構成要素、要因
百粒重は平年を上回ったが、着莢数、一莢内粒数ともに平年の7割ほどだったことから、子実重は平年を大きく下回りました(表9)。

表9 小豆の収量構成要素(普及センター作況調査)

項目	m当莢数(個)	一莢内粒数(粒/莢)	百粒重(g)	子実重(kg/10a)
R 3	229	4.4	16.1	172
平年	374	6.4	12.2	277
平年比(%)	61	69	132	62

間後半に発生した莢の割合が高いことで、稔実粒数Ⅱ一莢粒数は平年を下回ったと推測されました。
高温少雨だった昨年は、大豆でも同様に開花・着莢時期のばらつきが確認されました。

4 ばれいしょ(男爵薯)

(1) 生育の経過と病害の発生状況(表10、図10)

植付期は平年並でしたが、その後降雨が続く、植付後は平年より6日遅れました。萌芽以降、晴天が続く、着莢期、開花期は平年並、終花期は平年より1日早くなりました。

少雨と乾燥、水分ストレスから、終花期を迎える前に茎葉の萎れや脱水、複葉の脱落などが一部で観察されました。終花後の7月下旬には最高気温35℃以上の猛暑日が続く、茎葉の退緑、黄化が急速に進行し、茎葉黄変期は早まりました(写真4)。

地上部生育は、概ね平年並の茎数ですが、水分不足から茎葉伸長は抑制され、茎長は短くなりました。

生育期間の大半を高温・乾燥した状態で経過したため、低温多湿や高温多湿を好適条件とする疫病、軟腐病の発生は限定的でした。



写真4 高温と強い日射で枯れ上がった茎葉(7月下旬)

表10 農作業期（全品種対象）と生育期節（男爵薯）

	農作業期			生育期節					農作業期		
	植付始	植付期	植付終	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	茎葉黄変期	収穫始	収穫期	収穫終
R 3	4月24日	5月8日	5月20日	5月29日	6月15日	6月28日	7月13日	8月2日	8月27日	9月15日	10月1日
平年	4月28日	5月8日	5月18日	5月28日	6月14日	6月29日	7月14日	8月7日	8月24日	9月14日	10月6日
遅速	早4日	±0	遅2日	遅1日	遅1日	早1日	早1日	早5日	遅3日	遅1日	早5日

一方、地域や品種によって、不整形に変形する二次生長や土中萌芽した塊茎を生じ、製品率を低下させる原因となりました。

下の通り、上りも数、上りも一個重ともに平年を下回った。とから、上りも収量および規格内収量は平年の8割程度にとどまりました（表11）。

表11 ばれいしょの収量構成要素（男爵薯・普及センター作況調査）

項目	株当上りも数 (個/株)	上りも1個重 (g/個)	上りも収量 (kg/10a)	規格内収量 (kg/10a)	でん粉価 (%)
R 3	8.4	76	2,687	2,470	16.2
平年	10.1	91	4,178	3,970	15.0
平年比(%)	83	84	64	62	+1.2pt

（2）作況の収量構成要素、要因

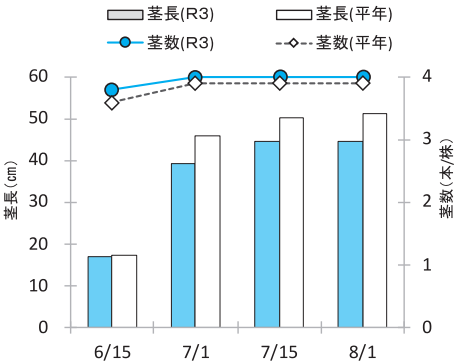


図10 ばれいしょの生育経過



写真5 昨年確認された異常高温の影響
左：1株の大半が二次生長、右：土中萌芽

面、培土内部の温度上昇を助長し、塊茎形成、塊茎肥大を著しく抑制した結果、低収になったと考えられました。

（3）二次生長の発生原因

二次生長は塊茎肥大期の高温乾燥で生育が停止し、その後の降雨などで再び生育を開始することで生じます。高温乾燥後の8月上旬のまとまった降雨が二次生長の誘因になったものと考えられました。また、収穫前に完熟した塊茎は一定期間萌芽・伸長しない内生休眠の状態にあり、高温下で休眠は短縮されることが知られています。収穫前の内生休眠にあった土中の塊茎が、高温下で休眠打破され萌芽したと思われました（写真5）。

5 てんさい

（1）作業、生育経過（表12、図11）

は種期、出芽期は平年並でした。断続的な降雨があり、移植期および移植後は平年よりやや遅れましたが、移植後の活着は良好でした。土壌の乾燥が著しくなった7月から茎葉の生育は抑制され、草丈は平年を下回って経過しました。8月に入ると新葉の発生と平行して下葉の枯死・脱落が進み（写真6）、株当たり葉数は平年を下回りました。根周は平年を下回って経過しました。他作物の作業が遅滞なく進んだことから、収穫作業は早く始まり、収穫は平年より早まりました。

表12 てんさい農作業期

	は種期	出芽期	移 植			収 穫		
			始	期	終	始	期	終
R 3	3月14日	3月20日	4月27日	5月7日	5月15日	10月1日	10月14日	10月25日
平年	3月15日	3月21日	4月30日	5月5日	5月14日	10月12日	10月21日	10月30日
遅速	早1日	早1日	早3日	遅2日	遅1日	早11日	早7日	早5日



写真6 下葉の枯れ上がり

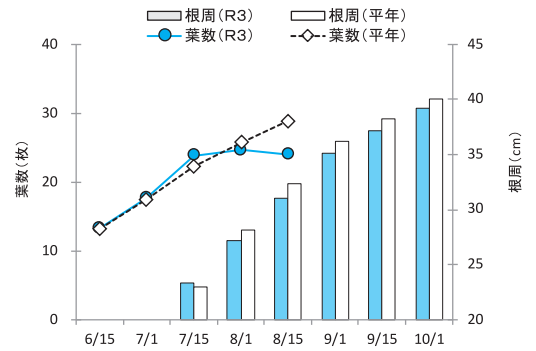


図11 てんさいの生育経過

ことから、糖
収量は平年を
大きく下回り
ました。生育
期間中、多照
となりました
が、高温と極
度の少雨は茎
葉の生育抑制、
根部肥大の停
滞を招きまし
た。

表13 てんさいの収量状況(普及センター作況調査)

年次	根重 (kg/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	T/R比
R 3	7,218	15.8	1,140	51.0
平年	7,868	16.9	1,330	63.4
平年比	92	93	86	80

(4) 作柄に影響を及ぼした要因

てんさいの根中糖分を左右する夏期の
最低気温は概ね平年並でしたが（7月上
旬から10月上旬の積算最低気温1, 26
1℃、過去20年平均1, 285℃）、根
中糖分は平年を下回りました。
根重と茎葉重の重量バランスを示すT
/R比は平年より小さいことに注目する
と、生成した糖分の貯蔵組織である根部
に比べて、茎葉部の糖分生成能力が低い
ことから、糖分上昇が緩慢になったと考
えられました。

(2) 病害虫の発生状況
高温多湿を好む褐斑病の発生はほとん
どありませんでした。近年終息しつつあ
る黄化病の発生もほとんど見られません
でした。
7～8月の高温乾燥下でハダニの発生
密度は急激に高まり、一部ほ場では吸汁
による葉身の黄化が認められました。

(3) 収量・糖分（表13）
根重、根中糖分ともに平年を下回った

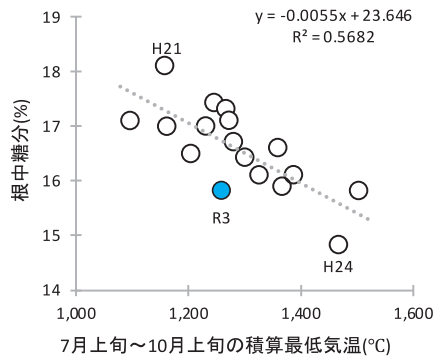


図12 過去20年の積算最低気温と根中糖分

野菜

平年よりも早い融雪を迎えましたが、
4月下旬の気温は低く、各作物で生育遅
れの原因となりました。その後、5月下
旬には再び低温寡照となりました。6月
から7月の記録的な少雨と高温から乾燥
が進み、露地・施設を問わず、幅広い作
物で生育不良や品質低下を招きました。
高温少雨の被害や、新型コロナウイルス
の影響による研修会の中止など、苦労
の多い一年となりました。

果菜類

1 トマト

① 促成・半促成作型
4月下旬に低温があつたものの、共選
は例年並の5月17日に開始されました。
その後は7月の強い日射の影響で果皮
が硬化し裂果が多発しました。7月中旬
から8月上旬まで最高気温の高い日が続
き、草勢が弱まったことにより茎葉の萎
れ、花房9段目から11段目にかけて花
落ち、あみ果を多く生じました。
9月の気温は平年並でした。10月上旬
の気温は高く着色が進みましたが、収穫
終盤は小玉傾向となりました。

② 抑制作型

定植後の低温と寡照により生育は遅れ
ましたが、6月以降の生育は順調に進み
ました。
その後の生育は、促成・半促成作型と
同様に、花落ちや変形果、裂果が多発し、
収穫終盤は小玉傾向となりました。

③ 病害虫

5月上旬の曇天により灰色かび病が発
生しました。また高温少雨だったことか

ら、一部でトマトサビダニが発生し、茎
の褐変症状と葉枯れ症状が見られたほか、
多発したアザミウマの加害による白ぶく
れ症状の果実が見られました。

2 スイートコーン（生食用）

は種作業は8月上旬収穫の作型で平年
並に進みましたが、晩生作型では5月下
旬の降雨で作業が遅れました。また、は
種後の低温と土壌乾燥により出芽にばら
つきが見られました。その後の高温少雨
は、一部地域で茎葉の伸長抑制や雌穂の着生不良を招きました（写真1）。



写真1 草丈1メートルで出穂
(令和3年8月)

早い作型の収穫は、8月上旬から始ま
りましたが、ピークは8月中旬以降とな
りました。雌穂は、細身でポリウムが
劣り、地域によって先端不稔が多発した
ことから、大幅な減収となりました。

洋菜類

1 グリーンアスパラガス

融雪は順調で、収穫は例年どおり5月
中旬から始まりました。5月下旬には一
部地域で降雪があり、若茎の「曲がり」
の被害を生じました。

その後、一時的に出荷量は減少したも
のの、好天に恵まれた6月上旬の出荷量
は前年並となりました。収穫は6月末ま
で行われ、出荷量はやや少なくなりました。

病害虫は、収穫期間中ジウシホシク
ビナガハムシの食害が散見され、9月
にはヨトウガの加害が見られました。斑点
病の発生は平年並でした。

2 ブロッコリー

定植直後の4月下旬にまとまった降雪があり、一時生育は停滞しましたが、5月の好天により、生育は回復しました。

地温が高く乾燥した一部のほ場では、定植直後で活着前の苗が枯れ上がる事態を生じました。7月の気温が高く推移した影響で不整形花蕾が目立ちました（写真2）。

9月下旬以降、適度な降雨で土壌水分は回復し、順調に生育しました。

病害虫は、軟腐病の発生は少なく、ヨトウムシ、コナガの発生量は平年よりも多くなりました。

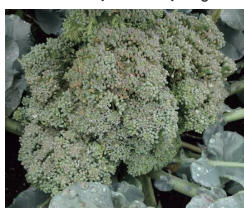


写真2 高温少雨を原因とする不整形花蕾（令和3年8月）

1 ゆりね

4月下旬は低温でしたが、5月の好天により生育は平年並に推移しました。その後、高温少雨で生育は停滞し、葉先枯れ症状が平年より早く発生しました。

また草丈は短く、りん茎肥大が抑制されたことから小玉傾向となりました（写真3）。



写真3 高温少雨により草丈は短かった（令和3年7月）

病害虫では、葉枯病の発生は平年より少なくなりました。

2 たまねぎ

4月下旬からは種・移植作業が進められ、直播・移植ともに出芽・活着は良好

となりました。高温少雨により生育の不揃いが目立ち、直播・移植栽培ともに葉先枯れ症状と球肥大の抑制が多く見られました。

移植については6月上旬まで順調に生育しました。多くのほ場で高温少雨による球肥大の抑制が見られましたが、一部かん水を行っていたほ場では平年並の球肥大を確保できました。

病害虫では、高温乾燥を好むネギアザミウマの被害が多く見られました（写真4）。

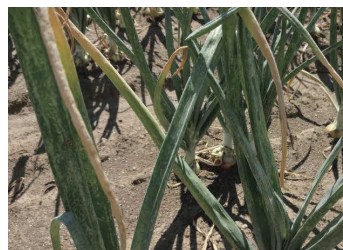


写真4 アザミウマ多発による被害（令和3年7月）

飼料作物

1 飼料用とうもろこし

生育経過と収穫作業の概要
は種作業は順調に行われ、出芽期はほぼ平年並に推移しました。しかし、6、7月の少雨の影響で生育が緩慢となり、8月1日時点の草丈はかなり短くなっていました。特に、7月後半は、高温少雨の影響で、葉の巻き上がり症状を呈し、ストレスを受けた状態での雄穂抽出となりました（写真1）。



写真1 高温少雨の影響による葉の巻き上がりと雄穂抽出（令和3年8月3日撮影）

絹糸抽出期、黄熟期はほぼ平年並に推移しました。9月1日における草丈は、平年約280cmのところ、本年は200cm程度でした。

収穫作業は、平年よりやや遅れて進みました。収穫始（5%）は9月23日、収穫期（40～50%）は10月1日、収穫終（90%）は10月11日となりました。

6～7月の少雨の影響で、草丈が短く、受精不良による先端不稔発生等、雌穂への影響もありました。このため、収量は平年よりかなり少なくなりました。

気象変動の影響を最小限にするためにも、堆肥・スラリー等を積極的に活用し、地力の維持増進を図ることが重要です。

今後に向けて
（3）今後に向けて
気象変動の影響を最小限にするためにも、堆肥・スラリー等を積極的に活用し、地力の維持増進を図ることが重要です。

（2）収量の概要
6～7月の少雨の影響で、草丈が短く、受精不良による先端不稔発生等、雌穂への影響もありました。このため、収量は平年よりかなり少なくなりました。

2 牧草

（1）1番草の生育と収穫作業の概要

融雪が早かったことから、萌芽期はやや早まりました。その後、5月に適度な降雨があり、生育は順調に進み、出穂期は平年並に推移しました。

収穫時期の6月中旬以降は、少雨傾向となり収穫作業はやや早く進みました。収穫始（5%）は6月15日、収穫期（40～50%）は6月24日、収穫終（90%）は7月4日となりました。

（2）2番草の生育と収穫作業の概要
1番草刈取り後、高温少雨の影響で生育が停滞し、チモシー2番草の再生状況が悪くなりました。8月上旬の降雨後、やっと再生芽が伸び始めましたが、その後の生育量は少なくなりました（写真2）。

9月1日におけるチモシー2番草の草丈は、平年約60cmのところ、本年は20～40

cmでした。

生育状況もほ場間差があり、回復が大きく遅れたほ場もありました。

収穫作業は、平年よりやや遅れて進みました。収穫始（5%）は8月25日、収穫期（40～50%）は9月6日、収穫終（90%）は9月20日となりました。

（3）1番草・2番草の収量の概要
1番草の収量は、平年並となりました。2番草の収量は、高温少雨の影響で再生状況が悪かったことから、平年よりかなり少なくなりました。再生不良により未収穫ほ場もありました。



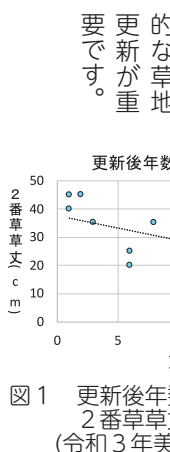
写真2 チモシー2番草の再生状況（令和3年8月26日撮影）

（4）今後に向けて

図1は、令和3年美瑛町における高温少雨の影響を受けたチモシー草地の調査結果です。更新後新しい草地は、更新後10年程度以上経過した草地より、高温少雨の影響がやや軽く、2番草の密度も高く、草丈もやや長くなっていました（図1）。

象変動の影響を最小限にするために、計画的な草地更新が重要です。

更新後年数とチモシー2番草草丈



新年のご挨拶

絆を深める交流を大切に

情報交換の場として交流を大切に

青年部 部長

松本 陽介



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新春を晴れ晴れしい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より青年部活動に對しまして、皆さまからの多大なるご支援・ご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。昨年は春先の低温、風害、夏には今までにない猛暑、干ばつにより様々な作物の成長に影響が出ました。何かと天候に左右され自然の厳しさ、自然を相手にする大変さを再認識する年となったのではないのでしょうか。青年部活動といたしましては、小学生の田植え体験、稲刈り体験は新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができませんでした。日頃食

べているお米の成長を小学生に見てもらうことは、自分たちの「食」に関して興味を持つてもらえる活動であると思っていたため、実施できなかったことは残念に思います。しかし、美瑛東小学校に伺い、「美瑛のお米ができるまで」と題しまして、美瑛町のお米栽培品種などを講演してきました。児童からは1つの田んぼでおにぎり何個作れるか？などと子どもらしい質問も出て、楽しく、有意義な時間となりました。また、今期は少ないながらも春期研修会とジャンボかぼちゃの計量も行うことができました。かぼちゃの計量に関しては、1位は116.5kgと過去最高となるジャンボかぼちゃができました。干ばつの中でも

畑作業の合間にしっかりと管理して育てたことが伺える立派なかぼちゃでした。これだけの大物を栽培、収穫してくれた部員がいることを大変嬉しく思います。まだまだコロナ終息までは時間がかかると思います。コロナ対策をしながらも部員同士の交流も大事にし、情報交換の場としても柔軟に対応しながら青年部活動をしていきたいと考えております。最後に、今年も変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げますとともに、皆さまの今年一年のご健康とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい時代の始まりにチャレンジを

女性部 部長

江花 恵



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より女性部活動に多大なるご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年の農業を振り返りますと、融雪が早く春作業は順調にスタートしましたが、7月以降の記録的な猛暑や干ばつにより、多くの農作物が影響を受けました。水撒きなどの対策に、皆さまも苦労されたことと推察いたします。また、昨年の話題といえば、第32

回夏季オリンピックが東京で開催されました。期間中は、私も毎日手に汗握りながら観戦しておりました。コロナ禍での開催となりましたが、アスリートの皆さんの努力の成果が発揮されている姿に、胸を打たれました。全体としての結果は、金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個を獲得し、合計メダル数は史上最多の58個という記録でした。男女混合の3種目を除いたメダル総数は、女子30に対し男子25と5大会ぶりに女子が上回りました。また、日本選手団の女子比率についても、1964年

東京五輪の2割弱から、5割弱へ増加していて、女子選手の素晴らしい活躍が見られた大会となりました。1896年の第1回大会は女人禁制であったオリンピックですが、現在では半数近くが女性となり、男性と同じように活躍しています。これは先人たちが100年以上の長い年月をかけて女性の地位向上に取り組んできた成果であり、地道な活動を続けることの大切さが伺えます。私たち女性部は、昨年も新型コロナウイルス感染症の影響により、楽しみにしていた多くの活動が一時停止を余儀なくされてしまいました。

2021 フォト スケッチ



「食」に興味を
青年部東小学校食育授業



文化に造詣を深める
女性部旅行サークル



冬のささやかな楽しみ
女性部手芸サークル



久々の開催となった合同事業
リーダー研修会



フレッシュシユミセス会会長
飯原 沙織

様々な 価値変化にも 柔軟に対応を

新年あけましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、穏
やかに新年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。また、日頃よりフレ
ッシュシユミセス会の活動に對しまして、
多大なるご支援、ご理解、ご協力を
頂いておりますことを心より感謝申
し上げます。

昨年は全道的にかつてないほどの
大干ばつに見舞われ、農作業にもか
なりの打撃を受けたのではないでし
ょうか。こうして冬を迎え、作業を
無事に終えられたことが本当に喜ば
しく、また安心した気持ちです。

フレッシュシユミセス会の活動とい
しましては、いまだ猛威を振るう新
型コロナウイルスの影響により、今
年度の活動も何もできずにいます。

ここしばらくは感染者数も落ち着い
てきているとはいえ、まだまだ油断
できない日々を過ごすことは、多大
なストレスとしてのしかかってくる
ような気がします。

その中においても、農業従事者で
ある私たちにとって、外でマスクを
せずに仕事ができる環境はとてもあ
りがたいものです。昨年はかなりの
高温になったこともあり、短時間で
も熱中症になるリスクにさらされま
したが、マスクをせずにきれいな自
然の中で作業ができる喜びは計り知
れないものがありました。

昨今の天候不順やコロナ禍により、
農業も大きな影響を受けています。
日々暮らしていく中で、野菜や食品
の値段が上がったり、いろいろなも

の価値が変わっていくことで、私
たち一人ひとりが意識を変えてい
かなければならないと感じています。

フレッシュシユミセス会は会員数が
年々減少しており、なかなか歯止
めのかかる状況にはなっていない
そんな中でも会員の皆さんが楽し
んでもらえるような研修会なども企
画していきたいと思っております。
これからも変わらぬご支援、ご協力を
よろしくお願い致します。

本年が、皆さまにとって素晴らしい
年になりますようご祈念申し上げます。

絆を深める第一歩は、日ごろ何気な
く交わす会話であったことに改めて
気づかされました。女性部活動のた
めに、私たちが今できることは何か、
試行錯誤を繰り返しています。始
まりと捉え、「できることからはじ

めよう」という思いを胸に、新しい
取り組みにチャレンジしていきたい
と考えております。まずは、今月下
旬に開催予定の女性部全体研修で、
多くの女性部員の皆さんにお会いで
きることを楽しみにしております。
今後の女性部活動に際しまして、

皆さまの変わらぬご支援、ご協力を
お願い申し上げます。最後になりま
したが、残された任期を役員一同、
精一杯勤めてまいります。

本年が皆さまにとりまして良い年
になりますよう心よりご祈念申し上
げます。



明日を担う

美瑛町北瑛第3

うらしま こうへい

浦島 康平 さん（32歳）

青年部副部長

今回登場していただいたのは、青年部副部長の浦島さん。

浦島さんは、美瑛町で生まれ育ち、高校を卒業後、深川市にある拓殖短大へ進学しました。子どもの頃から農業の手伝いをしていて、「いつかは自分も農業をやるんだ」という気持ちがあったことから、就農を決意しました。現在は青年部の副部長を務めていて、部員同士の刺激になればと、交流の機会を持つことを大切にしています。

当たり前のように
そばにあった、
農業という仕事

子どもの頃から、農業という仕事が常に身近にありました。家族の手伝いで畑に出るのも当たり前で、「自分もいずれこの仕事をやるんだ」という気持ちがあったため、短

大を卒業後、自然と「農業をやる」という選択をしていました。昔は今より機械の数が少なかったので、手作業が多かったイメージでした。いざ就農してみると、機械化されている作業も多く、法人化で面積が増加し機械も増えたため、子ども時代のイメージといい意味でギャップもありました。

5年前から作り始めた たまねぎに手ごたえ

現在は法人で小麦47ha、馬鈴薯10・5ha、ビート22ha、たまねぎ18・5haのほか、ソバやかぼちやなども合わせて約127haを作付しています。5年前から作付けを始めたたまねぎが、今まで作っていた作物と収入などの面で大きく違い、安定した経営のために、今後も作り続けていきたいと思っています。

たくさんの人と関わる ことが大きな刺激に

昨年に引き続き、新型コロナウイルスが猛威を振るっていて、特に今年は感染力の高いデルタ株がまん延したこともあり、なかなか青年部の活動も実施できませんでした。自分が青年部に加入したばかりの頃は先輩方と、加入して年齢が上がってくると若い部員の人と交流の機会が持てるので、それぞれの考え方の違いがとても勉強になります。青年部の

魅力は、そういった部分にあると思っています。実は初めて青年部に加入しないかと誘われた時、今まで自由にやっていたので縛られるのが嫌だと思って、断ったんです。その後、友達に飲み誘われて行ったら地域

の先輩方がいて。「来れるときに来ていいんだよ」と声をかけてもらったことで、自分のイメージしていた組織とは少し違うのかもしれないと思って、青年部への加入を決めました。青年部に加入して何年も経ちま



部員の学びの場として開催した春期研修会

すが、先輩方の存在は大きいなとも思います。

「美瑛の農畜産物は おいしい」ことを 広めたい

コロナ禍でさまざまな活動に制約がかかる中ではありますが、青年部である「今」しか学べないことがたくさんあると思っています。だからこそ、部員の皆さんにも、できる限り交流の場を提供していただろうと考えています。近年、美瑛でも農家戸数が減少してきていますが、農業に携わる人が減るといことは、「美瑛の農畜産物はおいしい」と発信してくれる人が減るといことでもあると思います。「美瑛」の名前と「おいしい農畜産物」を広めていくためには、より多くの仲間が必要なんです。だからこそ、交流の機会を大切にし、一人でも多くの仲間が安定した営農を続けていけるよう、情報交換を行うことでお互いに刺激を与えていければいいと思います。

一月

正月・雑煮
7日・七草がゆ
15日・小豆がゆ



雑煮は室町時代、京都で生まれたといわれる。今は家内安寧、家業繁盛など人それぞれの願いを年神様に祈り祝う。七草がゆは平安時代、殿上人の叙位の日に当たり、名を成すに掛けて食したそう。15日の小豆がゆは豊作を祈って奈良時代から食している。

四月

花見・花見弁当

人はなぜかすみたる空にはんなりと咲く妖艶な桜の花に酔う。元禄の頃、旦那衆の花見弁当は豪勢だった。欠かせないのは桜餅。江戸は小麦粉の焼き桜。上方（京坂）は蒸した道明寺粉。塩漬けの大島桜の葉がかぐわしい。



二月

節分・いり大豆
イワシ



大阪では大正時代、イワシと麦飯を食って長寿を祈った。玄関にイワシの頭とヒラギを飾るのは臭いとげで病魔を追いやるため。イワシの頭も信心から。

三月

ひな祭り・まぜずし・貝料理
春の彼岸・ぼた餅

まぜずしに上置きする錦糸玉子、紅しょうが、絹さやなどの彩りは春の明るさを表現する。貝は家持ちで金に関する漢字が多い。「入るを企（はか）って出るを制せば財を成し、散財すれば貧する」。春の彼岸は花の季節に合わせたぼた餅。



五月

こどもの日・ちまき
かしわ餅

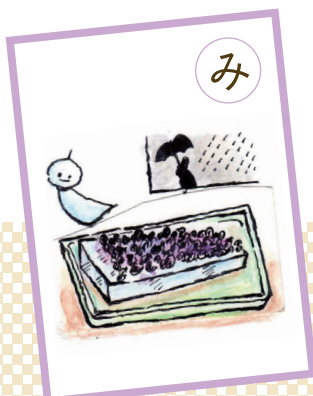
ちまきは弥生時代からある。粽（ち）菅（がや）で角形の筒を作ってもち米を入れた。今はうるち米の粉（うるち米の粉ともち米の粉を混ぜたものもある）を用い、ササの葉で包む。ササの爽やかな香りで保存性を高める。かしわ餅は江戸中期から。西日本にはサンキライの葉を用いる土地もある。



六月

茅（ち）の輪くぐり・水無月（外郎（うしろ））
夏至・タコ

雨が多い月なのに水無月とはこれいかに。行事食は少ないが、京都では甘煮の小豆を散らした水無月と呼ぶ菓子を食す。残り半年の無事を祈るためだ。土地により、夏至にタコを食す。



日本の行事食 カレンダー

私たちの歴史・文化を見直そう

七月

七夕（しちせき）●そうめん
『万葉集』●ウナギ

なぜ、たなばたという。飛鳥・奈良時代、神に供える絹布を織る機をいった。織る女の技術の上達を乞い、索餅（さくべい）…そうめんの祖（そ）を糸に見立ててけん牛、織り女の両星に供えた。ウナギは「夏痩せによし」と言ふものぞ鰻（むなぎ）取り召せ」と『万葉集』にある。



八月

盂蘭盆会（うらぼんえ）●精進料理

お盆は先祖の供養だけではなく、夏作物の収穫祭でもあった。精進料理を作って供え、かつ食した。今は作る家は少ない。精進湯でも作って盛夏を乗り切りたい。タンパク質や炭水化物など以外に油脂も大切。油断大敵というではないか。



季節ごとの行事やお祝いの日食べる特別な料理、「行事食」を通じて私たちの歴史や文化を再確認してみませんか。

監修…奥村彪生料理スタジオ
イラスト…とよだ時

十一月

七五三●千歳あめ

日本人は奇数を好む。3歳の女兒、5歳の男児、7歳の女兒の健やかな成長と守護を願って宮参りをする。お土産は千歳あめ。始まりは18世紀初頭。江戸・浅草のあめ売りが千歳あめと文字を入れたあめを長袋に入れたのが始まり。



十二月

大みそか●みそかそば

昔、江戸では大みそかは借金を取り立て日。庶民はツケで買物をした。支払いは盆と大みそか。商人はツケの回収に必死。無事終わり、ヤレヤレと出前のそばを食べて新年を迎えた。「安堵（あんど）」して年越しそばを食う夜かな」の川柳あり。

九月

重陽の節句●浮き菊の酒
月見●萩の餅

奈良時代、杯の酒に菊の花弁を浮かべて長寿を祈った。菊なますもうまい。月見にススキを飾り、月見団子（つきみだんご）を供え、萩の餅は好物で共に手作りして一家だんらん。そんな心の余裕が欲しい今。



十月

秋祭り●小豆入りおこわ（赤飯）

おめでたい日に作るおこわの中で、ふくいくとしたもち米と小豆の香が秀でているのは新物で作る秋祭りの頃。小豆のゆで汁を練れば練るほど赤い色が映えた。添えるごま塩の黒は小豆の色を際立たせる。アツ蒸しもいい。



み



※行事食の由来には諸説あり、使用する食材も地域により違いがあります。

地域農業の持続的発展がテーマ 第47回集落代表者研修会

足腰の強い地域農業を築き上げるため、集落・町内会代表が一堂に会した研修会を。第47回集落代表者研修会が、12月6日に農業センター3階大会議室にて開催されました。

当日は、43名の集落代表者を始めとし、当J A役員および管理職も出席。熊谷組合長は、開会挨拶で一年の農業概況について話したほか、干ばつによる農業被害への支援対策について、町と調整中であることを述べました。

当日は、上川農業試験場の安積大治場長を講師として迎え、「地域農業の持続的発展を支える農業技術」と題した講演が行われました。

農業分野において今後課題となる、地球温暖化や高齢化・担い手の不足について、また、起こりうる環境変化についてわかりやすくまとめたうえで、農業という産業を持続していくために意識して取り組みたいこと、様々な技術革新の紹介がありました。特に地球温暖化については、このままの速度で進んでしまうと、21世紀末の旭川は年平均気温が5℃も上

昇し、真夏日が大幅に増えるだけではなく、熱帯夜も出現するようになってしまいます。また、北海道全体では降雪量が約40%も減少して、大雨の発生回数が増加する懸念があるそうです。日頃の農作業でも、温室効果ガスの排出を減少できるよう、気をつけられることがあると講演がありました。

参加した集落代表者の皆さんは、はるか先、21世紀末の農業環境に思いをはせながら、真剣に講演を聞いていました。



2年ぶりの開催となりました

新たな名物が誕生！ 美瑛豚ハンバーグ お披露目会開催

カレーうどんや豚テキに続く新たな名物が誕生。丘のまちびえい美食倶楽部が12月2日に、新まちおこしメニューお披露目会を開催しました。当日紹介されたのは「美瑛豚ハンバーグ」。美瑛豚のモモ肉とウデ肉、美瑛産たまねぎを使用し、細挽きと粗挽きの2種の肉を合わせることで、お肉の食感を楽しみながら、しっかりとうま味を感じられる一品に。12月11日より、町内複数の飲食店で提供されるほか、美瑛選果などで購入も可能です。



うま味溢れる一品、ぜひご堪能ください！

決意を胸に羽ばたく 新農業人 激励の集い

コロナ禍や干ばつの厳しいシーズンを乗り越えた新農業人たちにエールを。新農業人激励の集いが、12月7日、農業センター3階大会議室にて開催されました。

当日は、6名の新農業人の皆さんが出席。各関係機関からも来賓が駆け付け、美瑛町の農業を支える力強い仲間となる新農業人に、激励の言葉を述べました。

新農業人の皆さんは、一人ひとりが希望に満ちた抱負を述べ、出席者からの激励と歓迎の拍手に包まれていました。



激励の言葉を述べる角和町長



「いろいろキノコと カキのみぞれ鍋」

Chef.Nagai's
recommended
recipe

シェフ永井の
おすすめ



永井 智一（ながいともかず）

茨城県笠間市にある
「天晴（旧キッチン晴人）」
オーナーシェフ

作り方

- (1)土鍋にさんしょう以外の材料を並べる。
- (2)Aを合わせて土鍋に注ぎ、ふたをして中火にかける。
- (3)材料に火が通ったらふたを取り、材料を皿に盛り付け、お好みでさんしょうを振り出来上がり。

材料（4人分）

カキ（水洗いして水気をふいておく）……………250g
レンコン（皮をむいてすりおろしたもの）……………200g
マイタケ……………1パック
足付きナメコ……………1パック
ヒラタケ……………1パック
シタケ……………4個
ミズナ……………1/2把
きりたんぽ……………2本

ゴボウ（さがきにすする）…1本
さんしょう……………適宜

◆A（合わせだし汁）

かつおだし……………1000ml
薄口しょうゆ……………100ml
みりん……………100ml
料理酒……………100ml

★1月のあなたの運勢

監修/モナ・カザンドラ

★ ♈ ♉ ♊ ♋ ♌ ♍ ♎ ♏ ♐ ♑ ♒ ♓ ♈

おひつじ座（3/21～4/19）

【全体運】やるべきことが多い中何に着手すればいいのかがはっきりしてきます。計画を立て着実に。好結果が待っています
【健康運】適度に体を動かすのが一番の健康法
【幸運の食べ物】ナバナ

おうし座（4/20～5/20）

【全体運】好調運です。やりたいことをリストにし今年の目標を立てて。実り多い年にできます。技術の取得にツキあり
【健康運】痛いところがあるときは無理をしないこと
【幸運の食べ物】ヒラメ

ふたご座（5/21～6/21）

【全体運】つい、うっかりしてしまいがち。安全点検はしっかりと。いつも使う物は特に入念に手入れをしておきましょう
【健康運】記録にこだわり過ぎず運動を楽しんで
【幸運の食べ物】チコリ

かに座（6/22～7/22）

【全体運】交友関係が活発化。1人では難しいことも協力者を募れば何とかなります。知恵を借りるときは謙虚に話を聞いて
【健康運】食事はバランス良く。野菜多めが◎
【幸運の食べ物】フキノとう

しし座（7/23～8/22）

【全体運】「いつもと同じ」が幸運のキーワード。伝統や習慣を大切に。手間のかかる作業を丁寧に進めれば問題も解決へ
【健康運】好きな運動ほど健康効果が高そう。楽しんで
【幸運の食べ物】小松菜

おとめ座（8/23～9/22）

【全体運】少し暴走気味の傾向はあるものの発展的。周囲の意見を聞くよう心掛けて。一緒に喜んでくれる人がいるのが大事
【健康運】あったか靴下で足元を冷えからガード
【幸運の食べ物】ヤマトイモ

てんびん座（9/23～10/23）

【全体運】にぎやかなお正月に。忙しさはあるものの周囲の笑顔があなたを幸せな気持ちにしてくれます。連絡は小まめに
【健康運】グループで運動を楽しみながら健康維持
【幸運の食べ物】ダイコン

さそり座（10/24～11/22）

【全体運】少し遠出をして行動範囲を広げると幸運をキャッチできます。小旅行も吉。手紙やメールの返信は早めに
【健康運】食事は目でも楽しみ、腹八分目を心掛けて
【幸運の食べ物】ミカン

いて座（11/23～12/21）

【全体運】先を急ぐあなたに周りが右往左往。多少言い争いはあるものの楽しい期間です。話を聞く耳を持つともっと発展的に
【健康運】力を出せませう。動き過ぎには気を付けて
【幸運の食べ物】シュンギク

やぎ座（12/22～1/19）

【全体運】ハッピーな年明けです。あなたの行動が周りの人も幸せな気分。楽しい予定を立てて。人の世話を焼くのも◎
【健康運】頭や首のつぼを刺激してストレスを軽減
【幸運の食べ物】ハクサイ

みずがめ座（1/20～2/18）

【全体運】上昇運です。定まらないことを形にしていって作業にツキがあります。年間予定を立てるなど前向きに動いて
【健康運】楽しみながらできる運動でパワーアップ！
【幸運の食べ物】クワイ

うお座（2/19～3/20）

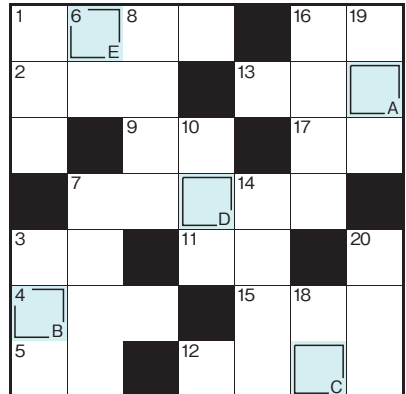
【全体運】考え過ぎは禁物。結論が出ないことは少し横に置いておいて。時の流れに任せた方がいい方向へ。おしゃべり吉
【健康運】質のいい睡眠は元気の源。枕選びにこだわって
【幸運の食べ物】マダイ



頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



ヨコのカギ



タテのカギ

- ① 1月の第2月曜日は——の日。
国民の祝日です
- ② 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
- ③ 下手な鉄砲も——撃ちや当てる
- ④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- ⑤ 水が混じって軟らかくなった土
- ⑦ これが三つで三振
- ⑨ 土を盛り上げて作ります
- ⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- ⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- ⑬ 果物——を使ってリングをむいた
- ⑮ 遠回りをする事
- ⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- ⑰ やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ
- ① オイルショックともいわれる——危機
- ③ 分度器で測ります
- ⑥ 栗の実のトゲトゲ
- ⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- ⑧ 遊園地で——コースターに乗った
- ⑩ おでんに添える黄色い薬味
- ⑭ 年下の女きょうだいのこと
- ⑯ 屋外で行うことも多い教科
- ⑱ ミカンのものは手でむけます
- ⑲ おしゃれな——でランチを楽しんだ
- ⑳ 「オリーブ」「おいしい」「カシオペア」といえば

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分（全農）をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

● ハガキ

うら

- ① クイズの答え
- ② 今月号の良かった内容
- ③ 取り上げて欲しい内容
- ④ その他ご意見・感想など
- ⑤ 住所・氏名・年齢・電話番号

ハガキは63円です

おもて

〒071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

● F A X 0166-92-2977

● Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月15日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは『プレゼント』でした



☆当選者は

角田昭子さん
柳原輝代さん
阪上八生さん
河村アイ子さん
岩渕暁子さん
以上5名です。
おめでとーございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。



file.1 血液の半分はチョコレートかも!?



総務部
審査・庶務課
おおたに まい
大谷 麻衣

出身地

岩見沢市

好きな食べ物

野菜、お米、チーズ、ラーメン、そして何より甘いもの♪

最近のマイブーム

長年の夢だった猫との暮らしを始めたので、今は猫に夢中です！出かけたくなくなりました（笑）

組合員の皆さんへ

いつも『丘の大地』をご覧いただき、ありがとうございます！もはや私のぼちゃ活記となってしまった編集後記にまでご感想をいただき……組合員の皆さんの優しさ・温かさに日々感謝し、お仕事に取り組んでいます。取材等でお伺いした際は、たくさんお話をお伺いできると嬉しいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

次回は……販売部青果課の高橋 巧さんをご紹介します！

免税軽油・農業労災保険の 受付をいたします

農業機械課では、令和4年度免税軽油申請と、農業労災加入および継続申請手続きを行います。

■申請手続き

必要書類

免税軽油…標識交付証明書（トラクター等入替増車の方）

農業労災…労働保険料算定基礎賃金等の報告書

日 程 1月12日(水)～1月19日(水)
9:00～16:00まで

場 所 研修センター研修室

※近年、免税軽油の不正利用防止のため、使用者への調査が強化されております。

免税軽油使用者証に未記載の機械への使用・冬期間の使用等、不正使用が発覚した場合は、罰則（免税証の不交付や過去3年に遡り返納等）が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。

窓口 研修センター ☎92-0588

JAびえいからの
お知らせ

JA Biei Information

安全フレームのないトラクター の出品について

令和4年から安全上の問題により、安全フレームのないトラクターは出品できなくなりました。（対象外車両あり）

◆トラクターの出品注意事項

1. 安全フレームを外した車両は必ず復元して出品してください。
2. 規定に反する物は査定評価においても大幅減点の対象となります。
3. シートベルト装置等も同様の扱いです。

※メーカー標準装備のない機種については別途協議となります。
ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。



窓口 アルード びえい ☎76-5515

1月のパソコン講習会について

◆日 程◆

種 類	月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
ソリマチ簿記 (パソコン)	1月14日(金)、17日(月) 19日(水)、21日(金) 24日(月)、26日(水) 28日(金)、31日(月)	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や 勘定科目の設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送仕方	青申会	JA3階 中会議室

◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方⇒**本体を持参してください**

ソリマチ簿記を受講希望の方⇒**伝票入力**の練習も行いたい場合は、**今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参してください。**

※受講される方は新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、マスクの着用と手指の消毒、検温をお願いいたします

窓口 営農支援課 ☎68-7014

年末年始のJA業務時間のご案内

		29日(水)	30日(木)	31日(金)	1月1日(土) ～2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)
金融店舗窓口		9:00～16:00		休 業			9:00～16:00		
A T M	ホクレンショップ	9:00～18:00		9:00～17:00	休 業		9:00～18:00		
	金融店舗	8:45～17:00		休 業			8:45～17:00		
	セブン銀行他※	8:00～22:00		8:00～21:00			8:00～22:00		
給 油 所	北 町	休 業	9:00～17:30	休 業			9:00～17:30		休 業
	大町セルフ	6:00～21:00			休 業		6:00～21:00		
上記以外の部門		8:30～17:00	8:30～12:00	休 業					8:30～17:00

※セブン銀行・ローソン銀行・イーネットATMについてはご利用日・ご利用時間によって手数料が変わります。また、稼働時間もATMによって異なります。詳しくはご利用のATMの掲示等でご確認ください。

※給油所については、休業日前の給油にご協力をお願いいたします。

【年始休業中の緊急対応】

項 目	連絡先
J A 共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパン・重油	92-2157

窓口 総務部 ☎92-2111

農業者の皆さまへ 農業者年金のご案内

老後生活の備えは十分ですか？農業者年金は、国民年金第1号被保険者（保険料納付免税者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。また、制度が一部改正され、令和4年5月1日からは、国民年金の任意加入者に限り、65歳まで農業者年金に加入できるようになります。※加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。

また、制度改正により、令和4年4月1日からは、農業者老齢年金の受給開始時期を、65歳以上75歳未満の間で選択できるようになります。従来通り、60歳以上65歳未満の間で繰り上げ受給を行うことも可能です。

農業者年金のメリット

- ・ 少子高齢化時代に強い積立方式の年金
- ・ 公的年金ならではの税制上の優遇措置
- ・ 終身年金で80歳までの保証付き
- ・ 農業の担い手には手厚い政策支援

制度改正のポイント

- ・ 35歳未満の方は、一定の条件を満たせば保険料が引き下げ
- ・ 受給開始時期の選択肢が広がる
- ・ 加入可能年齢が引き上げ

詳しくは、営農部までお問い合わせください。

窓口 営農部 ☎68-7014

JAカレッジの学生募集（2次募集）について

JAカレッジでは、JAに関する基礎的知識の習得や、JA業務に関連する各種資格の取得のほか、寮生活を通じて、協調性やコミュニケーション能力など、社会人として必要な基礎的な力を身に付けることを目的とし、毎年60名ほどの学生が切磋琢磨しています。

今回、JAカレッジの令和4年度入学予定者につきまして、定員までまだ余裕があるため、若干名の追加募集が行われますので、お知らせいたします。

- | | | |
|---------|--|--------------------|
| 1. 日 程 | 願書受付 | 令和4年1月5日(水)～25日(火) |
| | 入学試験 | 令和4年2月5日(土) |
| | 合格発表 | 令和4年2月18日(金) |
| 2. 募集人数 | 15名程度 | |
| 3. 試験会場 | JAカレッジ（江別市文京台東町43番地1） | |
| 4. 試験科目 | ①筆記（言語・数理・論理・英語・常識）
②適性検査
③面接 | |
| 5. 受験料 | 20,000円（納入期日 令和4年1月25日(火)） | |
| 6. 経費負担 | ①入学金 100,000円
②学 費 650,000円
③寄宿料 400,000円
④食 費 450,000円
※750,000円の学費免除制度があります。 | |



窓口 JAカレッジ学生部 ☎011-386-7502

自動温度調節換気扇
空動扇
電源一切不要
ビニールハウスの温度・湿度を自動管理。
農作物を守る！
済美環境化学株式会社
Sei Environment Chemistry

『空洞扇』は一切の電気・バッテリー等を必要としない、ビニールハウス専用の『無動力自動換気扇』です。

設置方法
1 シンブルで取り付け簡単！設置後のメンテナンスもほとんど不要です。電源不要！取組工費一切無し！
2 コンパスカッターを用いて、シンブルを15cmの穴を開けます。
3 空洞扇を下のビニールに差し込みます。
4 補助パイプを添えて空洞扇を挟み込むように固定します。写真のような収まりで空洞扇が完成！

10～15坪に1台設置でOK！
ハウス内の温度上昇を自動で抑える。その原理は？
設定温度を超えると自動で弁が開き、温まった空気を外部へ放出します。温度が戻るとまた自動で弁が閉じるので、温度を一定に保つことができます。

自然災害に強い！
ハウス内の空気を速い速度で外部へ放出するため、ハウス内の気圧が下がり、ビニールハウスの浮き立ちを防止するため、ビニールの破れを防止します。
連日は歴然！！台風によるビニールハウスの倒壊や破損を防止し被害を軽減！

『空洞扇』の効果
電源不要のエコドライブ、ハウス内の温度を自動で調整
空洞扇はハウス内の温度が上昇すると内部弁が自動で開き、上部に滞留する熱気を速やかに排熱するのでハウス内の高温・多湿障害の軽減になります。
台風・強風から大切なハウスを守ります
強風時、空洞扇のファンは速く回転しビニールハウスの内の気圧を下げます。したがってビニールパイプが密着し抵抗性が低くなったビニールハウスのパタつきや浮き立ちを軽減します。
ハウス内の空気循環・作物生育環境を整えます
ハウス内の換気が円滑に行われるとハウス内に空気の入れ替えができます。空気が滞留するとカビや菌類の発生を引き起こしかねません。空洞扇がハウス内をより露地に近い環境を作り出し、作物の生育環境を整えます。

▲ 空洞扇を設置したビニールハウス ▲ 空洞扇を設置していないビニールハウス

窓口 FARMLAND JAびえい店 ☎0166-92-3455

